

バイクマイクロフォン用2スピーカー付フローティングマイクロフォン

この取扱説明書について

このたびは、(株)エス・イー・シーの2スピーカー付フローティングマイクロフォン(4極ミニDINコネクタータイプ)“HS-15FW”をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

この“HS-15FW”は、アドニスブランドのバイクマイクロフォン用オプションです。他の製品と組み合わせてご使用ください。

ご使用に際しましては、本機の性能を十分発揮させていただくためこの説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管してください。

注意事項

本機を安全に正しくお使いいただくため、以下注意事項を記載しております。十分にご理解された上でお取り扱いください。

△危険	この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
△危険	走行中に、本機の取り付け直しおよび調整はしないでください。転倒・衝突など交通事故の原因になります。発進前に十分な取り付け調整を行ってください。
△危険	コード類は、バイクの運転操作の支障となる取り付け方をしないでください。転倒・衝突など交通事故の原因になります。
△警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
△警告	コード類は必ず固定してください。走行中に風等により不用意に絡まり危険です。
△警告	コード類は、無理に引っ張ったり巻き付けたりしないでください。交通事故の原因になります。
△警告	ヘルメットへの取り付け方は、この取扱説明書に従って確実に取り付けしてください。間違った取り付け方は、交通事故の原因となります。
△警告	スピーカーの音量を上げすぎると難聴の原因になったり周囲の音が聞こえにくくなったりして危険です。
△警告	本体内部は調整されていますので、改造・調整はしないでください。
△注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。
△注意	本機は防水構造ではありません。故障の原因となりますので濡らさないでください。
△注意	コネクターを、濡れた状態で抜き差ししないでください。誤動作の原因となります。
△注意	マイクロフォンのフレキシブルパイプは、無理に曲げないでください。けが、故障の原因となります。
△注意	本機は緊急通信や非常通信用途には設計されておりませんのでご承知おきください。

ご注意とお願い

- 本機の音声はモノラル仕様です。
- マイクロフォンには必ず、風防を取り付けてご使用ください。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所での使用および放置は、変形・変質を招き本機に悪い影響を与えますので工夫して高温を避けるようにしてください。
- 性能改善のため、予告なく仕様およびデザイン等を変更する場合があります。

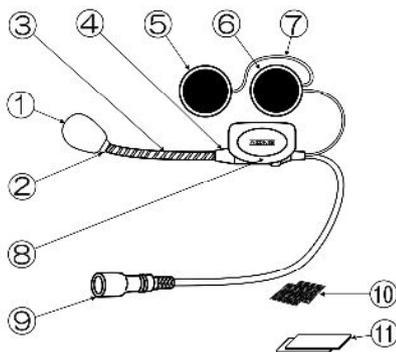
アフターサービスについて

お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、万一運搬中の事故などに伴い、ご不審な箇所、または破損などのトラブルがありましたら、お早めにお買い上げいただきました販売店、または弊社にお申しつけください。

各部の名称

取り付けを始める前に、付属品と各部の名称をご確認ください。

(1図)



風防
マイクロフォン
フレキシブルパイプ
クリップ部
右スピーカー
左スピーカー

渡り線
クリップカバー
マイク/スピーカー中継ジャック
付属品
マジックテープ 2枚
ゴム板 2枚

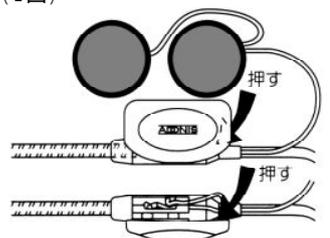
ゴム板の使用方法

「フチカバー」が付いていないヘルメットへクリップ部を取り付けるとヘルメットにキズがついたり外れたりする場合があります。

クリップ部を取り付ける位置に、付属のゴム板をヘルメットの外側と内側へ一枚ずつ、剥離紙を剥がして貼り付けてください。その後ゴム板の上へクリップ部を取り付けてください。

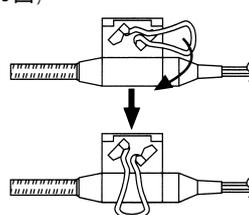
スピーカー付マイクロフォンの取付方法

(2図)



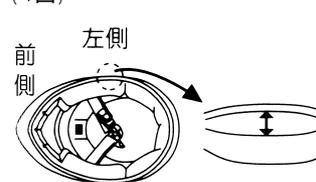
クリップ部に付いているクリップカバーを図のように裏側から押して外してください。

(3図)



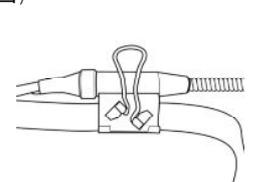
閉じているクリップレバーを開けてください。

(4図)

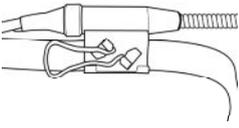
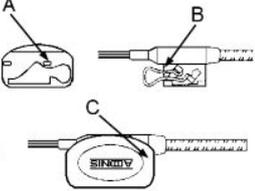
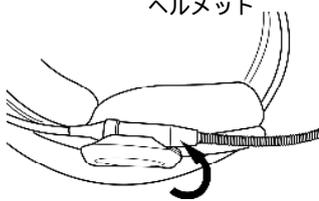
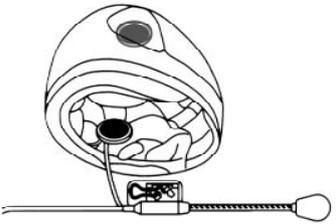


ヘルメット左側下部のフチとインナーパッドの間を少し広げます。

(5図)



クリップレバーを指で挟みクリップを広げ、マイクロフォンが口元に来る位置にヘルメット左側下部のフチをはさむように固定します。

<p>(6 図)</p>  <p>クリップがヘルメットのフチに固定されていることを確認し、クリップレバーを閉じます。</p>	<p>(7 a 図)</p>  <p>クリップカバーのツメをA、図のクリップ部分をB部、図のクリップカバー部分をC部とします。</p>	<p>(7 b 図)</p> <p>ヘルメット</p>  <p>クリップカバーのAのツメをクリップのB部に引っ掛ける。</p>	<p>(7 c 図)</p> <p>ヘルメット</p>  <p>クリップカバーのC部を外側へ曲げながら強く押します。</p>
<p>(7 d 図)</p> <p>ヘルメット</p>  <p>もう片方のクリップカバーのツメもクリップに引っ掛け、クリップをクリップカバーの左右のツメで抱え込むように取り付けます。</p>	<p>(8 図)</p>  <p>左右スピーカーをヘルメット内側の左右耳位置付近に取り付けます。渡り線はインナーと帽体の間に配線します。取付位置に付属のマジックテープの剥離紙を剥がし貼り付けた上で取り付けてください。</p>	<p>(9 図)</p>  <p>注意) ヘルメットへクリップ部がしっかり取り付けられていることを確認してください。 また、左右スピーカーの音を効率よく聞き取るため、耳の穴と左右スピーカーの中心が合うように調節してください。</p>	<p>(10 図)</p>  <p>矢印が同じ位置で向き合うようにして、しっかりと差込んで接続してください。</p>

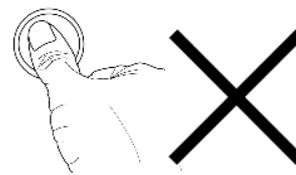
注) クリップ部を取り付ける場合は、6図のように必ずヘルメット左側下部に固定します。

スピーカーを取り付ける場合は、スピーカーの外枠を持って11a図のように取り付けます。11b図のようにスピーカーの外枠以外を押して、取り付けないでください。スピーカーの故障の原因となります。

(11 a 図)



(11 b 図)



使用方法

1) 乗車前の準備

- 1) スピーカー付マイクロフォンを取り付けたヘルメットをかぶります。
- 2) 10図の様に マイク/スピーカー中継ジャックと本機を接続する製品の矢印が同じ位置で向き合うようにして、しっかりと差込んで接続してください。
- 3) 接続が終わりましたら接続した製品の取扱説明書にしたがって操作をしてください。

別売オプション(下記商品)をご用意いたしております。カタログをご覧のうえ店頭にてお求めください。

・タンデム会話をしたい・音楽を聴きたい 携帯電話を使いたい場合 (携帯電話の会話は運転者のみ)	—————	多機能タンデムアンプBS - TH5 (本体価格¥16,000) (スイッチボックスを加えると無線も楽しめます。)	1台
・タンデム会話をしたい・音楽を聴きたい場合	—	外部入力端子付タンデムアンプBS - TL3 (本体価格¥8,800)	1台
・携帯電話を使いたい場合	—————	携帯電話用接続コードBS - 11 (本体価格¥2,400)	1本
		BS - 11をお求めになり音量が不足する場合 携帯電話用アンプBS - K2 (本体価格¥9,800)	1台
		携帯電話の着信を手元操作で行いたい場合 携帯電話用アンプBS - K2 (本体価格¥9,800)と フックアップスイッチBS - 12 (本体価格¥1,800)	1台 1個
・無線を楽しみたい場合	—————	無線用スイッチボックス(BS - S15 本体価格¥10,000~)	1台

携帯電話への接続はできません。

SEC 株式会社エス・イー・シー

〒576-0017 大阪府交野市星田北1丁目38番15号

TEL (072)893-3111 (代表) FAX(072)891-2240